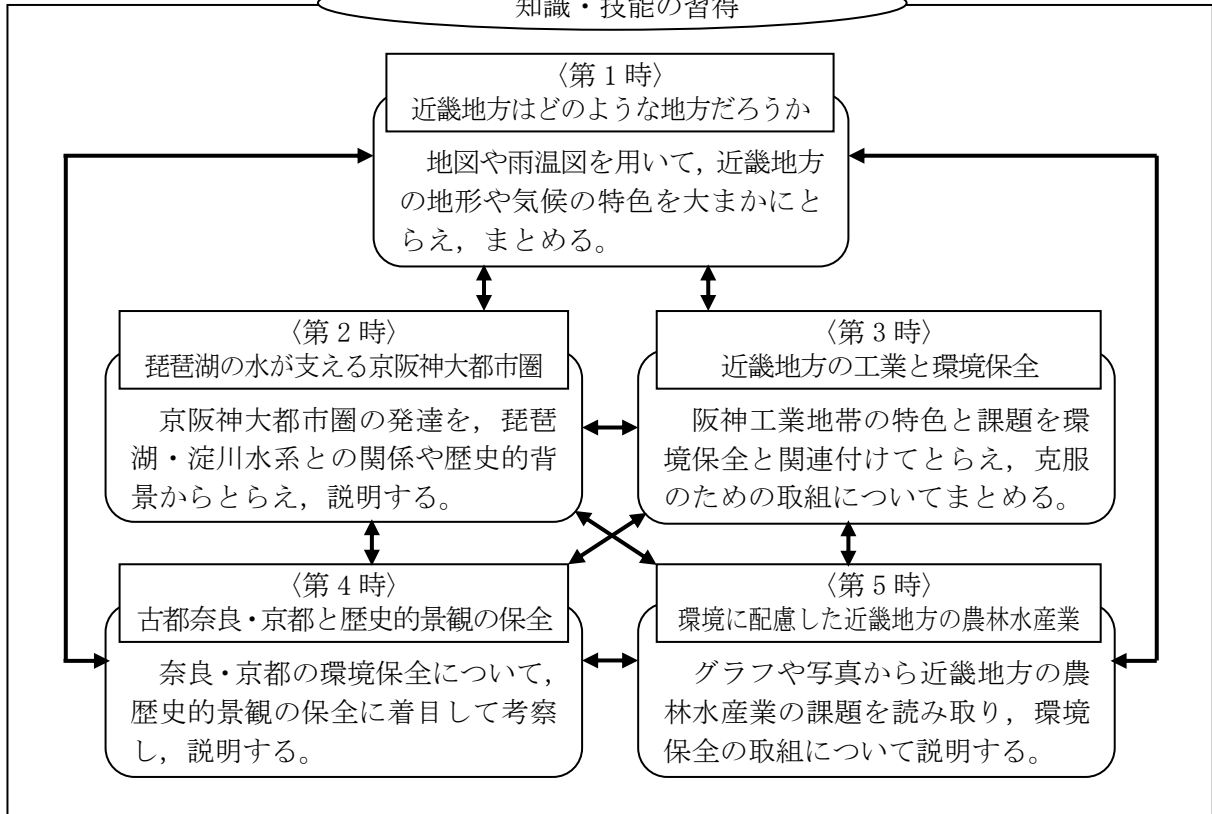


### 【単元構造図】

#### 単元の課題

近畿地方の地域的特色を、地図やグラフ、写真などの資料を用いて、環境保全の視点からとらえ、説明しよう。

#### 知識・技能の習得



#### 知識・技能の活用

特設

#### 〈第6時〉 追究～近畿地方の課題～

近畿地方の環境保全に関わる課題を挙げ、解決を図ろうとすることで、環境を守る大切さについて考えを深める。

#### 単元の到達目標

近畿地方の環境保全の取組を産業や人々の生活と関連付けてとらえ、現在の課題について考察し、説明できるようにする。

本時の目標：地図や雨温図を用いて、近畿地方の地形や気候の特色を大まかにとらえ、まとめられるようにする。

### プロセス1：課題設定

キーワードを確認する



発問

近畿地方を北部・中央部・南部に分けると、それぞれの地形や気候の特色は、どのようなものでしょう。

☞キーワード（予習）

若狭湾、丹波高地、琵琶湖、京都盆地、奈良盆地、大阪平野、淀川、紀伊山地、季節風、黒潮など

☞ワンポイントアドバイス

◇情報を「気付きメモ」に記入  
→生徒は未習事項のキーワードやキーセンテンスをあげ、既習事項については教師が押さえる。

※学校図書館の利用

### プロセス2：仮説立案と検証

各自のもつ情報から、仮説を立てる（仮説立案）

読取

☞資料：教科書p.192～193  
地図帳p.89～96



各自の仮説について、資料で確認する（検証）

解釈

☞ワンポイントアドバイス

◇既習事項から予想  
◇教科書や地図帳から情報収集  
◇白地図を北部・中央部・南部に三分割し、記入

### プロセス3：交流と再構築

グループで話し合い、全体の場で発表する（交流）

説明

☞ワンポイントアドバイス

◇他者が納得できる説明（根拠が大事）  
◇他者の説明をしっかりメモ（参考に）



自分の意見を見直す（知識の再構築）

解釈

### プロセス4：一般化と発展

今日の学習についてまとめる（一般化）、振り返る



新たに生まれた疑問から学習課題をつくる（発展）

例) 近畿地方の地形や気候は、人々の生活にどのような影響を与えているだろう。

※第6時の学習内容を生徒に伝え、利用できる書籍を残りの時間で探すよう指示する。

《一般化》

北部はなだらかな山地が続き、冬に雪が多い。中央部は盆地や平野が広がり、一年を通じて比較的少雨。南部はけわしい山地があり、夏高温多雨。

☞ワンポイントアドバイス

◇「学習課題のつくりかた」を活用  
→追究の時間につくる学習課題につなげる。

### 生徒がめざす姿（評価規準）

<関心・意欲・態度>

○複数の情報を資料から読み取り、ノートに書いている。

<思考・判断・表現>

○自分の意見を、根拠を示しながら具体的に説明している。

<資料活用の技能>

○地図や雨温図から、北部・中央部・南部を比較して地形や気候の特色を読み取っている。

<知識・理解>

○近畿地方の地形や気候についての知識を身に付け、説明や論述のときなどに正しく使っている。

本時の目標：京阪神大都市圏の発達を、琵琶湖・淀川水系との関係や歴史的背景からとらえ、説明できるようにする。

プロセス1：課題設定

キーワードを確認する



発問

京阪神大都市圏は、どのように発達してきたのでしょうか。またそこに暮らす人々の生活は、琵琶湖・淀川水系とどのように結び付いているのでしょうか。

☞キーワード（予習）

京阪神大都市圏、京都、大阪、神戸、琵琶湖、淀川、人口集中、ニュータウン、商業、貿易、国際都市、生活用水の確保など

☞ワンポイントアドバイス

◇情報を「気付きメモ」に記入  
→生徒は未習事項のキーワードやキーセンテンスをあげ、既習事項については教師が押さえる。

プロセス2：仮説立案と検証

各自のもつ情報から、仮説を立てる（仮説立案）

読取

☞資料：教科書p.194～195  
地図帳p.89～96



各自の仮説について、資料で確認する（検証）

解釈

☞ワンポイントアドバイス

◇教科書や地図帳から情報収集  
◇京都・大阪・神戸で比較できる表を作成

プロセス3：交流と再構築

グループで話し合い、全体場で発表する（交流）

説明

☞ワンポイントアドバイス

◇他者が納得できる説明（根拠が大事）  
◇他者の説明をしっかりメモ（参考に）



自分の意見を見直す（知識の再構築）

解釈

プロセス4：一般化と発展

今日の学習についてまとめる（一般化）、振り返る



新たに生まれた疑問から学習課題をつくる（発展）

例) 琵琶湖では、どのようにして環境保全に取り組んでいるのだろう。

《一般化》

京阪神大都市圏は、政治・経済の中心地として発展し、人口が集中した。琵琶湖・淀川水系は、生活用水として、そこに住む人々を支えている。

☞ワンポイントアドバイス

◇「学習課題のつくりかた」を活用  
→追究の時間につくる学習課題につなげる。

生徒がめざす姿（評価規準）

<関心・意欲・態度>

○複数の情報を資料から読み取り、ノートに書いている。

<思考・判断・表現>

○自分の意見を、根拠を示しながら具体的に説明している。

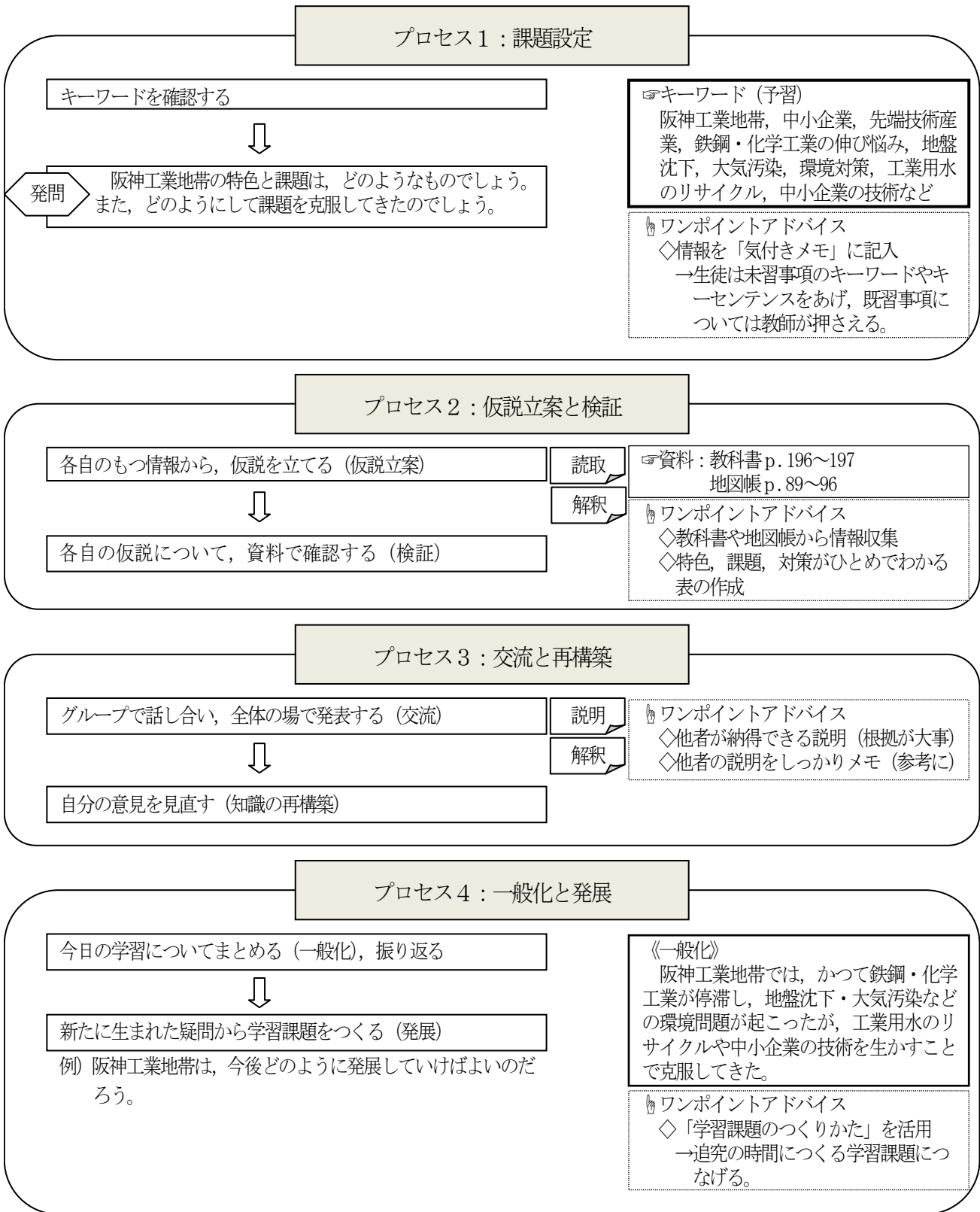
<資料活用の技能>

○地図や写真から、琵琶湖・淀川水系の範囲と利用の様子を読み取っている。

<知識・理解>

○京阪神大都市圏の発達を歴史的背景と関連付けて理解し、その知識を説明や論述のときなどに正しく使っている。

本時の目標：阪神工業地帯の特色と課題を環境保全と関連付けてとらえ、課題克服のための取組についてまとめられるようにする。



生徒がめざす姿（評価規準）

<p>&lt;関心・意欲・態度&gt; ○複数の情報を資料から読み取り，ノートに書いている。</p>	<p>&lt;思考・判断・表現&gt; ○自分の意見を，根拠を示しながら具体的に説明している。</p>	<p>&lt;資料活用の技能&gt; ○地図や写真・グラフから，阪神工業地帯の特色や課題，その対策について読み取っている。</p>	<p>&lt;知識・理解&gt; ○阪神工業地帯の特色と課題，その対策について理解し，その知識を説明や論述のときなどに正しく使っている。</p>
--	---	---	--

本時の目標：奈良・京都の環境保全について、歴史的景観の保全に着目して考察し、説明できるようにする。

プロセス1：課題設定

キーワードを確認する



発問

京都では、歴史的景観の保全をどのように行っているでしょう。なぜ、保全する必要があるのでしょうか。

☞キーワード（予習）

古都、文化財、昔の町なみ、利便性、町家、景観政策など

👉ワンポイントアドバイス

◇情報を「気付きメモ」に記入

→生徒は未習事項のキーワードやキーセンテンスをあげ、既習事項については教師が押さえる。

※学校図書館の利用

プロセス2：仮説立案と検証

各自のもつ情報から、仮説を立てる（仮説立案）

読取

☞資料：教科書 p. 198～199

地図帳 p. 89～96



解釈

各自の仮説について、資料で確認する（検証）

👉ワンポイントアドバイス

◇学校図書館の資料から情報収集

◇「ジュニア京都検定テキストブック」を利用

プロセス3：交流と再構築

グループで話し合い、全体場で発表する（交流）

説明

👉ワンポイントアドバイス

◇他者が納得できる説明（根拠が大事）

◇他者の説明をしっかりとメモ（参考に）



解釈

自分の意見を見直す（知識の再構築）

プロセス4：一般化と発展

今日の学習についてまとめる（一般化）、振り返る



新たに生まれた疑問から学習課題をつくる（発展）

例) 歴史的景観を守るために、私たちにできることは何だろう。

《一般化》

奈良や京都には、有形・無形の文化財や古都の町なみが残り、観光資源としても重要である。これらの歴史的景観を保全するために、建物に制限を加えたり町家の新たな活用を試みたりしているが、住民生活の利便性とのバランスが課題となる。

👉ワンポイントアドバイス

◇「学習課題のつくりかた」を活用

→追究の時間につくる学習課題につなげる。

生徒がめざす姿（評価規準）

＜関心・意欲・態度＞

○歴史的景観を保全することの意義を理解し、その適切な方法について知ろうとしている。

＜思考・判断・表現＞

○歴史的景観を保全することの意義や、その適切な方法について考察し、根拠を示しながら具体的に説明している。

＜資料活用の技能＞

○写真やグラフから、奈良・京都の文化財や歴史的景観についての情報を読み取っている。

＜知識・理解＞

○奈良や京都の歴史的景観を保全する取組に関する知識を身に付け、説明や論述のときなどに正しく使っている。

本時の目標：グラフや写真から近畿地方の農林水産業の課題を読み取り，環境保全の取組について説明できるようにする。

プロセス1：課題設定

キーワードを確認する



発問

近畿地方の農林水産業には、どのような課題があるでしょう。また、どのような対策を行っているのでしょうか。

☞キーワード（予習）

外国材の輸入，林業従事者の減少・高齢化，自然のダム，環境林，企業の森づくり活動，農薬の使いすぎ，有機肥料，水産資源の減少，（捕獲する魚介類の）大きさ・量・時期の制限など

☞ワンポイントアドバイス

◇情報を「気付きメモ」に記入  
→生徒は未習事項のキーワードやキーセンテンスをあげ，既習事項については教師が押さえる。

プロセス2：仮説立案と検証

各自のもつ情報から，仮説を立てる（仮説立案）

読取

☞資料：教科書p.200～201  
地図帳p.89～96



各自の仮説について，資料で確認する（検証）

解釈

☞ワンポイントアドバイス

◇教科書のグラフ・写真を活用  
◇環境保全の視点から課題発見  
◇課題と対策をまとめる表を作成

プロセス3：交流と再構築

グループで話し合い，全体場で発表する（交流）

説明

☞ワンポイントアドバイス

◇他者が納得できる説明（根拠が大事）  
◇他者の説明をしっかりメモ（参考に）



自分の意見を見直す（知識の再構築）

解釈

プロセス4：一般化と発展

今日の学習についてまとめる（一般化），振り返る



新たに生まれた疑問から学習課題をつくる（発展）

例) 農林水産業で環境保全の取組を進めなければ，私たちの生活にはどのような影響が出るのだろう。

《一般化》

農林水産業における，乱獲や農薬の使いすぎなどの環境問題に対し，環境林の保全や有機肥料の使用，漁獲量の制限などの対策を進め，効果をあげている。

☞ワンポイントアドバイス

◇「学習課題のつくりかた」を活用  
→追究の時間につくる学習課題につなげる。

生徒がめざす姿（評価規準）

<関心・意欲・態度>

○複数の情報を資料から読み取り，ノートに書いている。

<思考・判断・表現>

○自分の意見を，根拠を示しながら具体的に説明している。

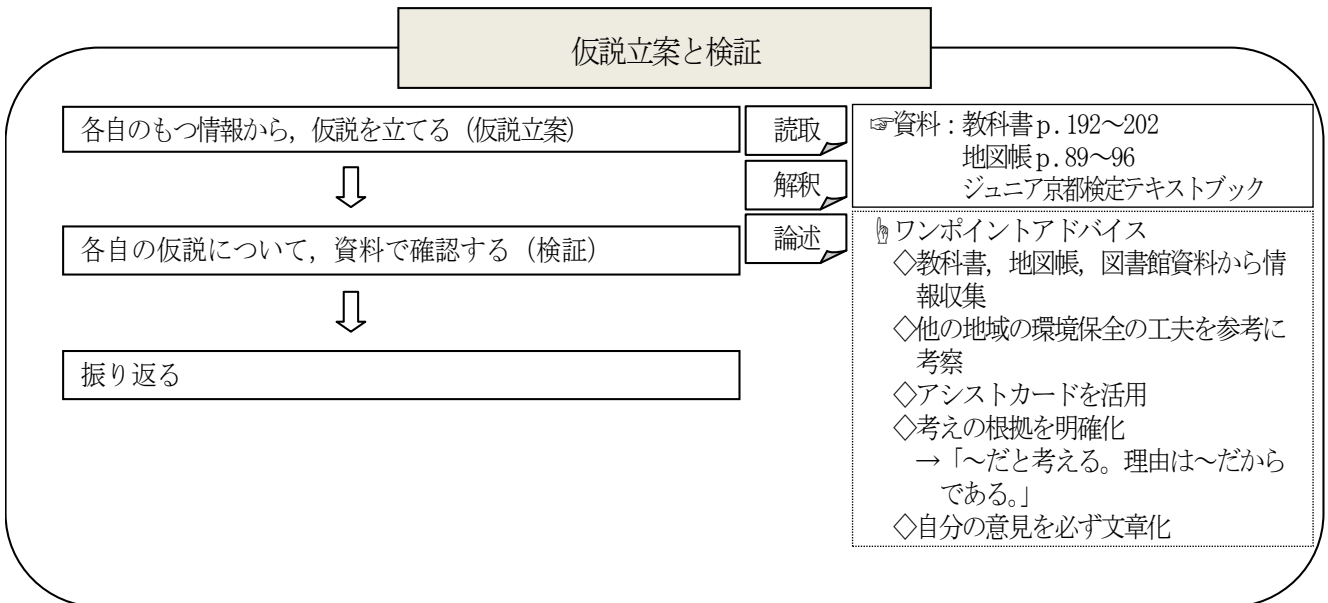
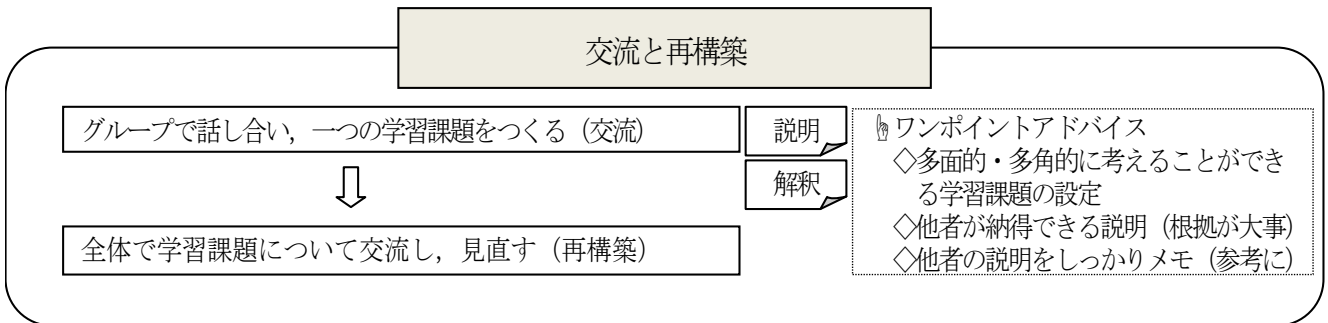
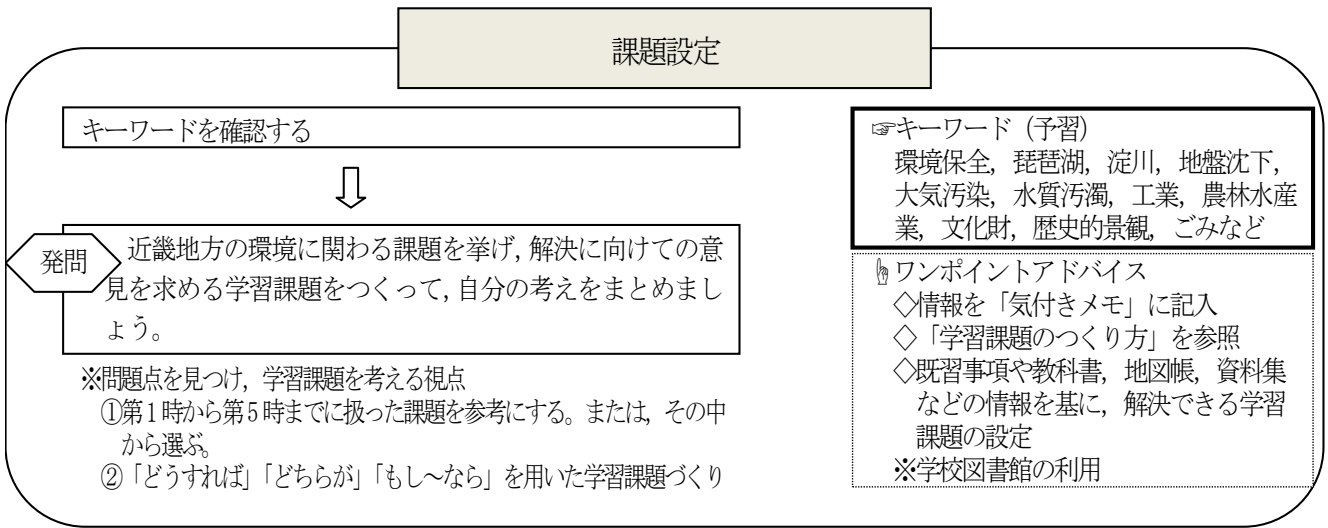
<資料活用の技能>

○写真やグラフから，近畿地方の農林水産業の課題と環境保全の取組についての情報を読み取っている。

<知識・理解>

○近畿地方の農林水産業の課題と環境保全の取組に関する知識を身に付け，説明や論述のときなどに正しく使っている。

本時の目標：近畿地方の環境保全に関わる課題を挙げ、解決を図ろうとすることで、環境を守る大切さについて考えを深めることができるようにする。



生徒がめざす姿（評価規準）

<p>&lt;関心・意欲・態度&gt;</p> <p>○既習事項や資料を基に、価値判断や意思決定ができる学習課題をつくっている。</p>	<p>&lt;思考・判断・表現&gt;</p> <p>○近畿地方の環境問題について考え、具体的な根拠を示しながら論述している。</p>	<p>&lt;資料活用の技能&gt;</p> <p>○地図やグラフなど適切な資料を選び、近畿地方の環境保全に関わる必要な情報を読み取っている。</p>	<p>&lt;知識・理解&gt;</p> <p>○近畿地方の環境保全に関する知識を身に付け、説明や論述のときなどに使っている。</p>
--	---	---	---

## 2年 社会科学習指導案

1. 本時…近畿地方はどのような地方だろうか (第1時)

2. 本時の目標…地図や雨温図を用いて、近畿地方の地形や気候の特色を大まかにとらえ、まとめられるようにする。

3. 本時の評価

観点	学習活動における 具体的な評価規準 (B)	(A) 十分満足できる	(C) の生徒への手だて
資料 活用 の 技能	地図や雨温図から、北部・中央部・南部を比較して、地形や気候の特色を読み取っている。	地形や気候の特色を、季節風や海流の影響と関連付けながら読み取っている。	北部と南部の夏と冬の写真を比較することで、気候の特色を読み取ることができるようにする。
知識 理解	近畿地方の地形や気候についての知識を身に付け、説明や論述のときなどに正しく使っている。	地形や気候についての知識を、そこに住む人々の生活と関連付けながら身に付け、使っている。	白地図を北部・中央部・南部と分割し、比較して示すことで、特色を理解できるようにする。

4. 本時の展開

過程 (分)	学習内容	学習活動 (◇), 予想される生徒の反応 (・)	指導上の留意点 (○)・支援 (*)・評価 (【 】)
プロセス1 (10分)	1. キーワードの確認	◇家庭学習で挙げたキーワードを、全体で確認する。	○学校図書館を利用して学習する。 ○学習の視点が「環境保全」であることを伝える。 ○事前学習ができていないか、机間指導で確認する。 ○キーワード板書し、特に重要なものについては、意味や内容も確認する。 ○近畿地方の白地図を準備する。
発問「近畿地方を北部・中央部・南部に分けると、それぞれの地形や気候の特色は、どのようなものでしょう。」			
プロセス2 (10分)	2. 近畿地方の地形と気候の特色	◇近畿地方の地形と気候の特色を、白地図にまとめるとめる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">読取</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">解釈</span> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北部には、丹波高地がある。</li> <li>・中央部には京都盆地、奈良盆地、大阪平野がある。</li> <li>・南部には、紀伊山地がある。</li> <li>・北部は、冬に雪がよく降る。</li> <li>・南部は、冬でも暖かい。</li> <li>・京都は夏暑くて湿気が多い。冬は寒くて雪があまり降らない。</li> </ul>	○天橋立と潮岬の写真資料を提示する。 *北部と南部の夏と冬の写真を比較することで、気候の特色を読み取ることができるようにする。 *白地図を北部・中央部・南部と分割し、比較して示すことで、特色を理解できるようにする。 *気候については、「なぜ、そのような特色があるの」と問いかけることで、既習事項である季節風や海流の影響に気付くことができるようにする。 ○中央部の気候については、自分たちの生活と結び付けて実感できるとよい。



			<p>【資料活用の技能】</p> <p>地図や雨温図から、北部・中央部・南部を比較して、地形や気候の特色を読み取っている。(白地図, ノート)</p>
プロセス3 (15分)	3. 特色の確認	<p>◇各自が考えた特色をグループで交流し、確認してまとめる。</p> <p style="text-align: center;">説明   解釈</p> <p>◇各グループでまとめた特色について、全体の場で発表する。</p>	<p>○地図やグラフを用いて説明するようにする。</p> <p>○自分の説明と違うところを見つけて書き留めるように指示する。わからない言葉は、説明の後で質問するようにする。</p> <p>【知識・理解】</p> <p>近畿地方の地形や気候についての知識を身に付け、説明や論述のときなどに正しく使っている。(ノート, 交流の様子)</p>
プロセス4 (15分)	4. 学習のまとめと課題づくり	<p>◇今日の学習内容を一般化する。</p> <p>◇振り返りを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ近畿地方でも、場所によって気候が大きく違うことがわかった。</li> <li>・京都の気候は、自分が住んでいるところなので、よくわかった。</li> <li>・京都以外に住んでいる人とわたしたちの生活が、どのように違うのか気になった。</li> </ul> <p>◇今日の授業で新たに生まれた疑問を基に、各自で学習課題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近畿地方の地形や気候は、人々の生活にどのような影響を与えているだろう。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">&lt;一般化(まとめ)&gt;</p> <p>北部はなだらかな山地が続き、冬に雪が多い。中央部は盆地や平野が広がり、一年を通じて比較的少雨。南部はけわしい山地があり、夏高温多雨。</p> <p>*「わかったこと」と「まだわからないこと」を箇条書きであげることで、文章化できるようにする。</p> <p>○「学習課題のつくりかた」を参考にして、学習課題を考えるようにする。</p> <p>○近畿地方の第6時に「環境保全」の視点で学習課題をつかって自分の考えをまとめることを生徒に伝え、課題解決に利用できる書籍を残りの時間で探すよう指示する。</p>

## 5. 板書計画

<p>第3章 日本の諸地域 第3節 近畿地方 (第1時)</p> <p>◎本時の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地図や雨温図を用いて、近畿地方の地形や気候の特色を大まかにとらえ、まとめる。</li> </ul> <p>◎めざす姿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地図や雨温図から、北部・中央部・南部を比較して地形や気候の特色を読み取っている。(資料活用の技能)</li> <li>・近畿地方の地形や気候についての知識を身に付け、説明や論述のときなどに正しく使っている。(知識・理解)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>気付きメモ (キーワード)</p> </div>	<p style="text-align: center;"><b>学習課題</b></p> <p>近畿地方を北部・中央部・南部に分けると、それぞれの地形や気候の特色は、どのようなものでしょう。</p> <p>(各班の意見)</p> <p>1班:</p> <p>2班:</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【一般化】</p> <p>北部はなだらかな山地が続き、冬に雪が多い。中央部は盆地や平野が広がり、一年を通じて比較的少雨。南部はけわしい山地があり、夏高温多雨。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>【学習の振り返り】</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>《新たな疑問と課題》</p> <p>疑問：地域によって～はどう違うのかな？</p> <p><b>学習課題</b> 近畿地方の地形や気候は…？</p> </div>
---	--

## 2年 社会科学習指導案

1. 本時…琵琶湖の水が支える京阪神大都市圏（第2時）
2. 本時の目標…京阪神大都市圏の発達を、琵琶湖・淀川水系との関係や歴史的背景からとらえ、説明できるようにする。
3. 本時の評価

観点	学習活動における 具体的な評価規準 (B)	(A) 十分満足できる	(C) の生徒への手だて
資料 活用 の 技能	地図や写真から、琵琶湖・淀川水系の範囲と利用の様子を読み取っている。	琵琶湖・淀川水系の利用について、環境保全の視点をもちながら読み取っている。	小学校での琵琶湖疏水の学習と関連付けることで、琵琶湖・淀川水系の利用について生活用水としての関わりから読み取ることができるようにする。
知識 理解	京阪神大都市圏の発達を歴史的背景からとらえ、その知識を説明や論述のときなどに正しく使っている。	京阪神大都市圏の発達を、歴史的背景からだけでなく、現在の人々の生活と関連付けながら理解し、知識を身に付けて使っている。	京都・大阪・神戸を比較できる表にして示すことで、それぞれの都市の特色を理解できるようにする。

### 4. 本時の展開

過程 (分)	学習内容	学習活動 (◇), 予想される生徒の反応 (・)	指導上の留意点 (○)・支援 (*)・評価 (【 】)
プロセス1 (8分)	1. キーワードの確認	◇家庭学習で挙げたキーワードを、全体で確認する。	○事前学習ができているか、机間指導で確認する。 ○キーワードを板書し、特に重要なものについては、意味や内容も確認する。
発問「京阪神大都市圏は、どのように発達してきたのでしょうか。またそこに暮らす人々の生活は、琵琶湖・淀川水系とどのように結び付いているのでしょうか。」			
プロセス2 (15分)	2. 京阪神大都市圏と琵琶湖・淀川水系	◇京阪神大都市圏の発達の様子と琵琶湖・淀川水系の利用について、京都・大阪・神戸の都市ごとにまとめる。 <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px;">読取</div> <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px;">解釈</div> ・京都は、昔の都であり、政治や文化の中心地として発達した。 ・大阪は、江戸時代から、商業の中心地として発達した。 ・大阪は周辺にニュータウンがつくられ、人口が増えて交通が発達した。 ・大阪は、現在、臨海部の開発が進んでいる。 ・神戸は、江戸時代末期から貿易港として発達し、国際都市になっている。 ・神戸は山をけずってニュータウンをつくったり、人工島をつくったりして、土地を広げる工夫をしてきた。 ・京都も大阪も神戸も、琵琶湖・淀川水系を利	＊京都・大阪・神戸を比較できる表にして示すことで、それぞれの都市の特色を理解できるようにする。 ＊小学校での琵琶湖疏水の学習と関連付けることで、琵琶湖・淀川水系の利用について生活用水としての関わりから読み取ることができるようにする。 ＊「生活用水とは、飲み水や料理・洗濯に使う水である」という具体的な用途をあげることで、環境保全との関わりに気付くことができるようにする。 【資料活用の技能】 地図や写真から、琵琶湖・淀川水系の範囲と利用の様子を読み取っている。(表、ノート)

		用して、生活用水を手に入れている。	
プロセス3 (20分)	3. 意見の交流	<p>◇各自の意見をグループで交流し、確認してまとめる。</p> <p style="text-align: right;">説明 解釈</p> <p>◇各グループでまとめた意見について、全体の場で発表する。</p>	<p>○地図や写真を用いて説明するようにする。</p> <p>○自分の説明と違うところを見つけて書き留めるように指示する。わからない言葉は、説明の後で質問するようにする。</p> <p><b>【知識・理解】</b></p> <p>京阪神大都市圏の発達を歴史的背景からとらえ、その知識を説明や論述のときなどに正しく使っている。(ノート、交流の様子)</p>
プロセス4 (7分)	4. 学習のまとめと課題づくり	<p>◇今日の学習内容を一般化する。</p> <p>◇振り返りを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都は政治と文化、大阪は商業、神戸は貿易の中心地として発達したことがわかった。</li> <li>・わたしたちの生活が、琵琶湖や淀川の水に支えられていることがわかった。</li> <li>・琵琶湖の水が汚れると、私たちの生活にどのような影響が出るのか気になる。</li> </ul> <p>◇今日の授業で新たに生まれた疑問を基に、各自で学習課題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・琵琶湖では、どのようにして環境保全に取り組んでいるのだろう。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">＜一般化(まとめ)＞</p> <p>京阪神大都市圏は、政治・経済の中心地として発展し、人口が集中した。琵琶湖・淀川水系は、生活用水として、そこに住む人々を支えている。</p> <p>*「わかったこと」と「まだわからないこと」を箇条書きであげることで、文章化できるようにする。</p> <p>○「学習課題のつくりかた」を参考にして、学習課題を考えるようにする。</p>

## 5. 板書計画

第3章 日本の諸地域  
第3節 近畿地方(第2時)

◎本時の目標

- ・京阪神大都市圏の発達を、琵琶湖・淀川水系との関係や歴史的背景からとらえ、説明する。

◎めざす姿

- ・地図や写真から、琵琶湖・淀川水系の範囲と利用の様子を読み取っている。(資料活用の技能)
- ・京阪神大都市圏の発達を歴史的背景からとらえ、その知識を説明や論述のときなどに正しく使っている。(知識・理解)

**学習課題**

京阪神大都市圏は、どのように発達してきたのでしょうか。またそこに暮らす人々の生活は、琵琶湖・淀川水系とどのように結び付いているのでしょうか。

〈各班の意見〉

	京 都	大 阪	神 戸
発達の様子			
現在の様子			
琵琶湖・淀川水系の利用			

気付きメモ(キーワード)

**【一般化】**

京阪神大都市圏は、政治・経済の中心地として発展し、人口が集中した。琵琶湖・淀川水系は、生活用水として、そこに住む人々を支えている。

**【学習の振り返り】**

《新たな疑問と課題》

疑問：琵琶湖の水が汚れると、どんな影響が出るのだろうか？

**学習課題** 琵琶湖では、どのようにして環境保全に…？

## 2年 社会科学習指導案

1. 本時…近畿地方の工業と環境保全（第3時）
2. 本時の目標…阪神工業地帯の特色と課題を環境保全と関連付けてとらえ、克服のための取組についてまとめられるようにする。
3. 本時の評価

観点	学習活動における 具体的な評価規準（B）	（A）十分満足できる	（C）の生徒への手だて
資料 活用 の 技能	地図や写真・グラフから、阪神工業地帯の特色や課題、その対策について読み取っている。	先端技術産業の発達にも着目し、近畿地方の工業の新しい特色や環境対策まで読み取っている。	地図や写真・グラフの注目すべき部分を示すことで、資料を読み取ることができるようにする。（アシストカード活用）
知識 理解	阪神工業地帯の特色と課題、その対策について理解し、その知識を説明や論述のときなどに正しく使っている。	近畿地方の工業の特色や環境対策について、新しい動きにも着目して理解し、知識を身に付けて使っている。	食品や電化製品などの身近な工業製品を資料として示すことで、自分たちの生活との関わりから工業の特色を理解できるようにする。

### 4. 本時の展開

過程（分）	学習内容	学習活動（◇）、予想される生徒の反応（・）	指導上の留意点（○）・支援（*）・評価（【 】）
プロセス1 （8分）	1. キーワードの確認	◇家庭学習で挙げたキーワードを、全体で確認する。	○事前学習ができているか、机間指導で確認する。 ○キーワードを板書し、特に重要なものについては、意味や内容も確認する。
発問「阪神工業地帯の特色と課題は、どのようなものでしょう。また、どのようにして課題を克服してきたのでしょうか。」			
プロセス2 （15分）	2. 阪神工業地帯の特色と課題	◇阪神工業地帯の特色と課題、課題克服のための取組について、表にまとめる。 <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">読取</div> <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">解釈</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・阪神工業地帯の工業生産額は、日本3位である。</li> <li>・阪神工業地帯には、中小企業が多い。</li> <li>・機械工業が発達している。</li> <li>・先端技術産業を支える企業もある。</li> <li>・地盤沈下や大気汚染の問題がある。</li> <li>・工業用水をリサイクルしている。</li> <li>・排煙に規制を設けている。</li> <li>・太陽光発電をしたり、ごみを資源化したりすることで、環境対策をしている。</li> <li>・独自の技術で成功する企業も増えている。</li> </ul>	○阪神工業地帯の特色・課題・環境対策について、ひとめでわかる表を作成する。 ○教科書p.156の「おもな工業地域の工業出荷額の内訳」や「日本のおもな工業地域」などの資料も利用する。 *地図や写真・グラフの注目すべき部分を示すことで、資料を読み取ることができるようにする。（アシストカード活用） *食品や電化製品などの身近な工業製品を資料として示すことで、自分たちの生活との関わりから工業の特色を理解できるようにする。 【資料活用の技能】 地図や写真・グラフから、阪神工業地帯の特色や課題、その対策について読み取っている。（表、ノート）

プロセス3 (20分)	3. 意見の交流	◇各自の意見をグループで交流し、確認してまとめる。 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">説明</div> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">解釈</div> ◇各グループでまとめた意見について、全体の場で発表する。	○地図や写真・グラフを用いて説明するようにする。 ○自分の説明と違うところを見つけて書き留めるように指示する。わからない言葉は、説明の後で質問するようにする。 <b>【知識・理解】</b> 阪神工業地帯の特色と課題、その対策について理解し、その知識を説明や論述のときなどに正しく使っている。(ノート、交流の様子)
プロセス4 (7分)	4. 学習のまとめと課題づくり	◇今日の学習内容を一般化する。 ◇振り返りを書く。 ・地盤沈下の対策として、工業用水をリサイクルしていることがわかった。 ・わたしたちの身近なところに、阪神工業地帯で作られた製品があることがわかった。 ・他の環境問題がないのか、気になった。 ・どのような新しい技術があるのか、知りたくなった。 ◇今日の授業で新たに生まれた疑問を基に、各自で学習課題をつくる。 ・阪神工業地帯は、今後どのように発展していけばよいのだろうか。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">＜一般化(まとめ)＞</p> <p>阪神工業地帯では、かつて鉄鋼・化学工業が停滞し、地盤沈下・大気汚染などの環境問題が起こったが、工業用水のリサイクルや中小企業の技術を生かすことで克服してきた。</p> </div> * 「わかったこと」と「まだわからないこと」を箇条書きであげることで、文章化できるようにする。 ○「学習課題のつくりかた」を参考にして、学習課題を考えるようにする。

## 5. 板書計画

第3章 日本の諸地域  
 第3節 近畿地方(第3時) 近畿地方の工業と環境保全  
 ◎本時の目標  
 ・阪神工業地帯の特色と課題を環境保全と関連付けてとらえ、克服のための取組についてまとめられるようにする。  
 ◎めざす姿  
 ・地図や写真・グラフから、阪神工業地帯の特色や課題、その対策について読み取っている。(資料活用の技能)  
 ・阪神工業地帯の特色と課題、その対策について理解し、その知識を説明や論述のときなどに正しく使っている。(知識・理解)

**学習課題**  
 阪神工業地帯の特色と課題は、どのようなものでしょう。また、どのようにして課題を克服してきたのでしょうか。

〈各班の意見〉
 

特色	
課題	
対策	

**【一般化】**  
 阪神工業地帯では、かつて鉄鋼・化学工業が停滞し、地盤沈下・大気汚染などの環境問題が起こったが、工業用水のリサイクルや中小企業の技術を生かすことで克服してきた。

**【学習の振り返り】**

**〈新たな疑問と課題〉**  
 疑問：新しい技術には、どのようなものがあるのだろうか？  
**学習課題** 阪神工業地帯は、今後どのように…？

気付きメモ (キーワード)

## 2年 社会科学習指導案

1. 本時…古都奈良・京都と歴史的景観の保全（第4時）

2. 本時の目標…奈良・京都の環境保全について、歴史的景観の保全に着目して考察し、説明できるようにする。

3. 本時の評価

観点	学習活動における 具体的な評価規準 (B)	(A) 十分満足できる	(C) の生徒への手だて
関心 意欲 態度	歴史的景観を保全することの意義を理解し、その適切な方法について知ろうとしている。	歴史的景観の保全を自分に関わる問題としてとらえ、適切な方法を考えようとしている。	京都市にある文化財や歴史的な建物・町なみを具体的に示すことで、身近な問題として関心を持てるようにする。
思考 判断 表現	歴史的景観を保全することの意義や、その適切な方法について考察し、根拠を示しながら具体的に説明している。	歴史的景観を保全する方法について、自分たちの生活と関連付けて考え、具体的に説明している。	歴史的景観が損なわれた場合について考えることで、保全する意義に気付くことができるようにする。

4. 本時の展開

過程 (分)	学習内容	学習活動 (◇), 予想される生徒の反応 (・)	指導上の留意点 (○)・支援 (*)・評価 (【 】)
プロセス1 (8分)	1. キーワードの確認	◇家庭学習で挙げたキーワードを、全体で確認する。	○学校図書館を利用して学習する。 ○事前学習ができていないか、机間指導で確認する。 ○キーワードを板書し、特に重要なものについては、意味や内容も確認する。
発問「京都では、歴史的景観の保全をどのように行っているでしょう。なぜ、保全する必要があるのでしょうか。」			
プロセス2 (15分)	2. 奈良・京都の歴史的景観の保全	◇奈良や京都にある文化財や歴史的な建物・町なみを挙げて、どのように保全しているのか調べ発表する。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">読取</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">解釈</span> ・奈良には東大寺（大仏）がある。 ・京都には祇園祭がある。 ・京都には金閣寺や清水寺がある。 ・京都には町家がある。 ・周りの建物を目立たないようにする。 ・市がお金を出して保存する。 ・若い人が保全の活動に参加する。  ◇歴史的景観をなぜ保全する必要があるのか考える。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">解釈</span> ・有名な神社やお寺は、観光地になっていて、多くの人が訪れるから。 ・私たちにとって、誇れるものだから。 ・歴史のある大切なものだから。 ・次の時代にも受け継いでいきたいから。	○授業が始まる前に、参考になる資料を各自で探し、準備しておいてもよい。 ○ジュニア京都検定テキストブックを準備する。 ○有名な寺社・町なみ・お祭りなどの写真を提示する。 ＊京都市にある文化財や歴史的な建物・町なみを具体的に示すことで、身近な問題として関心を持てるようにする。 ○京都市の景観政策の一例を挙げる。  ＊歴史的景観が損なわれた場合について考えることで、保全する意義に気付くことができるようにする。

プロセス3 (20分)	3. 意見の交流	◇各自の意見をグループで交流し、確認してまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 2px;">説明</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 2px;">解釈</div> ◇各グループでまとめた意見について、全体の場で発表する。	○自分の説明と違うところを見つけて書き留めるように指示する。わからない言葉は、説明の後で質問するようにする。 <b>【関心・意欲・態度】</b> 歴史的景観を保全することの意義を理解し、その適切な方法について知ろうとしている。(ノート、交流の様子) <b>【思考・判断・表現】</b> 歴史的景観を保全することの意義や、その適切な方法について考察し、根拠を示しながら具体的に説明している。(ノート、交流の様子)
プロセス4 (7分)	4. 学習のまとめと課題づくり	◇今日の学習内容を一般化する。 ◇振り返りを書く。 ・京都は自分が住んでいる街なのに、文化財や町なみについてあまり詳しく知らないことがわかった。 ・歴史的景観を守るために、いろいろな取組をしていることがわかった。 ・歴史的景観を守るのは、大事だと思った。 ・今後、どうすれば歴史的景観を守っていくことができるのだろう。 ◇今日の授業で新たに生まれた疑問を基に、各自で学習課題をつくる。 ・歴史的景観を守るために、私たちにできることは何だろう。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">&lt;一般化(まとめ)&gt;</p> <p>奈良や京都には、有形・無形の文化財や古都の町なみが残り、観光資源としても重要である。これらの歴史的景観を保全するために、建物に制限を加えたり町屋の新たな活用を試みたりしているが、住民生活の利便性とバランスが課題となる。</p> </div> <p>*「わかったこと」と「まだわからないこと」を箇条書きであげることで、文章化できるようにする。</p> <p>○「学習課題のつくりかた」を参考にして、学習課題を考えるようにする。</p>

## 5. 板書計画

<p>第3章 日本の諸地域</p> <p>第3節 近畿地方(第4時) 古都奈良・京都と歴史的景観の保全</p> <p>◎本時の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良・京都の環境保全について、歴史的景観の保全に着目して考察し、説明できるようにする。</li> </ul> <p>◎めざす姿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的景観を保全することの意義を理解し、その適切な方法について知ろうとしている。(関心・意欲・態度)</li> <li>・歴史的景観を保全することの意義や、その適切な方法について考察し、根拠を示しながら具体的に説明している。(思考・判断・表現)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>気付きメモ(キーワード)</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>学習課題</b></p> <p>奈良や京都では、なぜ歴史的景観の保全に力を入れているのでしょうか。また今後、どのように守っていけばよいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(各班の意見)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">[一般化]</p> <p>奈良や京都には、有形・無形の文化財や古都の町なみが残り、観光資源としても重要である。これらの歴史的景観を保全するために、建物に制限を加えたり町屋の新たな活用を試みたりしているが、住民生活の利便性とバランスが課題となる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">【学習の振り返り】</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">《新たな疑問と課題》</p> <p>疑問：新しい技術には、どのようなものがあるのだろうか？</p> <p><b>学習課題</b> 阪神工業地帯は、今後どのように…？</p> </div>
--	--

## 2年 社会科学習指導案

1. 本時…環境に配慮した近畿地方の農林水産業（第5時）
2. 本時の目標…グラフや写真から近畿地方の農林水産業の課題を読み取り、環境保全の取組について説明できるようにする。
3. 本時の評価

観点	学習活動における 具体的な評価規準（B）	（A）十分満足できる	（C）の生徒への手だて
資料 活用 の 技能	写真やグラフから、近畿地方の農林水産業の課題と環境保全の取組についての情報を読み取っている。	近畿地方の農林水産業における環境保全の取組について、その成果についても読み取っている。	地図や写真・グラフの注目すべき部分を示すことで、資料を読み取ることができるようにする。（アシストカード活用）
知識 理解	近畿地方の農林水産業の課題と環境保全の取組に関する知識を身に付け、説明や論述のときなどに正しく使っている。	近畿地方の農林水産業の課題を自分たちの課題としてとらえ、環境保全の取組の意義について理解し、その知識を説明や論述のときなどに使っている。	木を切りすぎたり魚介類をとりすぎたりすることで起こる弊害について考えることで、農林水産業の課題に気付くことができるようにする。

### 4. 本時の展開

過程（分）	学習内容	学習活動（◇）、予想される生徒の反応（・）	指導上の留意点（○）・支援（*）・評価【 】
プロセス1 （8分）	1. キーワードの確認	◇家庭学習で挙げたキーワードを、全体で確認する。	○事前学習ができているか、机間指導で確認する。 ○キーワードを板書し、特に重要なものについては、意味や内容も確認する。
発問「近畿地方の農林水産業には、どのような課題があるでしょう。また、どのような対策を行っているのでしょうか。」			
プロセス2 （15分）	2. 近畿地方の農林水産業の課題と対策	◇近畿地方の農林水産業の課題と環境保全の取組を挙げ、表にまとめる。 <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">読取</div> <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">解釈</div> ・外国材の輸入が増えて、木材の価格が下がった。 ・林業従事者が減って、高齢化している。 ・森林が減って、農業用水や生活用水が足りなくなったり、災害が起こったりしている（地球温暖化につながっている）。 ・農薬の使い過ぎが、環境破壊につながっている。 ・魚介類をとりすぎて、水産資源が減っている。 ・植林をしている。 ・有機肥料を使っている。 ・魚介類をとる量や時期を制限している。	○課題と取組をまとめるための表を用意する。 *地図や写真・グラフの注目すべき部分を示すことで、資料を読み取ることができるようにする。（アシストカード活用） *木を切りすぎたり魚介類をとりすぎたりすることで起こる弊害について考えることで、農林水産業の課題に気付くことができるようにする。  【資料活用の技能】 写真やグラフから、近畿地方の農林水産業の課題と環境保全の取組についての情報を読み取っている。（ノート）



プロセス3 20分	3. 意見の交流	◇各自の意見をグループで交流し、確認してまとめる。 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">説明</div> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">解釈</div> ◇各グループでまとめた意見について、全体の場で発表する。	○自分の説明と違うところを見つけて書き留めるように指示する。わからない言葉は、説明の後で質問するようにする。 (ノート、交流の様子) <b>【知識・理解】</b> 近畿地方の農林水産業の課題と環境保全の取組に関する知識を身に付け、説明や論述のときなどに正しく使っている。(ノート、交流の様子)
プロセス4 7分	4. 学習のまとめと課題づくり	◇今日の学習内容を一般化する。 ◇振り返りを書く。 ・近畿地方の農林水産業は、環境を守りながら行われていることがわかった。 ・農林水産業で環境を守ることは、私たちの生活を守ることにつながっていると思った。 ・植林することが仕事を増やすことにつながっていると知って、驚いた。 ・私たちの住んでいる地域の農家も、何か取り組んでいるのだろうか。 ◇今日の授業で新たに生まれた疑問を基に、各自で学習課題をつくる。 ・農林水産業で環境保全の取組を進めなければ、私たちの生活にはどのような影響が出るのだろうか。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">         &lt;一般化(まとめ)&gt;          農林水産業における、乱獲や農薬の使いすぎなどの環境問題に対し、環境林の保全や有機肥料の使用、漁獲量の制限などの対策を進め、効果をあげている。       </div> *「わかったこと」と「まだわからないこと」を箇条書きであげること、文章化できるようにする。 ○「学習課題のつくりかた」を参考にして、学習課題を考えるようにする。

## 5. 板書計画

<p>第3章 日本の諸地域          第3節 近畿地方 (第5時) 環境に配慮した近畿地方の農林水産業</p> <p>◎本時の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフや写真から近畿地方の農林水産業の課題を読み取り、環境保全の取組について説明できるようにする。</li> </ul> <p>◎めざす姿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真やグラフから、近畿地方の農林水産業の課題と環境保全の取組についての情報を読み取っている。(資料活用の技能)</li> <li>・近畿地方の農林水産業の課題と環境保全の取組に関する知識を身に付け、説明や論述のときなどに正しく使っている。(知識・理解)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>気付きメモ (キーワード)</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>学習課題</b></p> <p>近畿地方の農林水産業には、どのような課題があるのでしょうか。また、どのような対策を行っているのでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〈各班の意見〉</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>[一般化]</p> <p>農林水産業における、乱獲や農薬の使いすぎなどの環境問題に対し、環境林の保全や有機肥料の使用、漁獲量の制限などの対策を進め、効果をあげている。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【学習の振り返り】</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《新たな疑問と課題》</p> <p>疑問：私たちの住んでいる地域の農家も、…?</p> <p><b>学習課題</b> 農林水産業で環境保全の取組を…?</p> </div>
--	--

## 2年 社会科学習指導案

### 1. 本時…追究～近畿地方の課題～（第6時）

2. 本時の目標…近畿地方の環境保全に関わる課題を挙げ、解決を図ろうとすることで、環境を守る大切さについて考えを深めることができるようにする。

### 3. 本時の評価

観点	学習活動における 具体的な評価規準 (B)	(A) 十分満足できる	(C) の生徒への手だて
関心 意欲 態度	既習事項や資料を基に、価値判断や意思決定ができる学習課題をつくっている。	価値判断や意思決定をするのに、多面的・多角的に考える必要がある学習課題をつくっている。	「どうすれば～」「どちらが～」「もしも～」を用いた課題文にすることで、その課題について多面的・多角的に考えることができるようにする。
思考 判断 表現	近畿地方の環境問題について考え、具体的な根拠を示しながら論述している。	複数の資料を用いて情報を吟味し、具体的な根拠を示しながら、自分の考えを論述している。	教科書や資料のキーワードを再確認することで、論述の根拠として活用できる知識に気付くようにする。

### 4. 本時の展開

過程 (分)	学習内容	学習活動 (◇), 予想される生徒の反応 (・)	指導上の留意点 (○)・支援 (*)・評価 (【 】)
課題設定 (15分)	1. キーワードの確認	◇次の視点で今までの近畿地方の学習を振り返り、キーワードを探し、全体で確認する。 [視点①] 近畿地方の環境保全の課題には、どのようなものがあったか。 [視点②] より深めて考えようと思った課題と、その理由は何か。	○学校図書館を利用して学習する。 ○ノートの記述を利用して、環境保全の課題を探すようにする。これまでの学習を通じて出てこなかった課題を取り上げてもよい。 ○キーワードを板書し、環境保全に関わる課題について確認する。
<b>発問「近畿地方の環境に関わる課題を挙げ、解決に向けての意見を求める学習課題をつくって、自分の考えをまとめましょう。」</b>			
	2. 近畿地方の環境保全	◇近畿地方の環境保全に関わる課題の一つ取り上げて、価値判断や意思決定の必要な学習課題をつくる。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">解釈</span> ・どうすれば、清水寺や金閣寺などの文化遺産を保護していくことができるのか。 ・もしもあなたが滋賀県の知事なら、琵琶湖の環境を守るために、どのような対策をとるか。 ・京都市ではゴミ袋を有料にしているが、あなたはこのやり方についてどう考えるか。	○第1時から第5時でつくった学習課題も参考に にする。 ○「学習課題のつくり方」を参考にして考える。 ○近畿地方の学習を見直し、具体的な環境保全に関わる課題を挙げるようにする。 *「どうすれば～」「どちらが～」「もしも～」を用いた課題文にすることで、その課題について多面的・多角的に考えることができるようにする。

交流と再構築 (10分)	3. 学習課題の検討	◇各自の学習課題をグループで交流し、より考えを深めることができるものにする。 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">説明</div> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">解釈</div> ◇各グループでつくった学習課題について、全体の場で発表する。	○より多面的・多角的に考えることができるような学習課題にする。 <b>【関心・意欲・態度】</b> 既習事項や資料を基に、価値判断や意思決定ができる学習課題をつくっている。(ノート、交流の様子)
仮説立案と検証 (25分)	4. 自分の考えの論述	◇グループでつくった学習課題について、自分の考えを文章で論述する。 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">読取</div> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">解釈</div> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">論述</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清水寺や金閣寺などの文化遺産を保護していくためには、～することが必要だと考える。理由は～だからである。</li> <li>・私が滋賀県の知事なら、琵琶湖の環境を守るためには、～することが必要だと考える。理由は～だからである。</li> <li>・ゴミ袋の有料化は、ゴミの量を減らすために役立っていると考え。理由は～だからである。</li> </ul> ◇振り返りを書く。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都の文化遺産を守っていくために、自分たちにもできることがあることがわかった。</li> <li>・時々琵琶湖に遊びに行くが、琵琶湖の水を自分たちが飲んでいるという意識はなかった。これからはゴミなど残さないようにしたい。</li> <li>・ゴミ袋を有料にしていることが、ゴミの量を減らす上で大事なことがわかった。</li> </ul>	○「～だと考える。理由は～だからである。」という文型を用いて、自分の考えの根拠となるものを明らかにする。 *教科書や資料のキーワードを再確認することで、論述の根拠として活用できる知識に気付くようにする。 <b>【思考・判断・表現】</b> 近畿地方の環境問題について考え、具体的な根拠を示しながら論述している。(ノート) *「わかったこと」と「まだわからないこと」を箇条書きであげること、文章化できるようにする。

## 5. 板書計画

<p>第3章 日本の姿          第3節 近畿地方 (第6時: 特設) 追究～近畿地方の課題～          ◎本時の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近畿地方の環境保全に関わる課題を挙げ、解決策について考察することで、環境を守ろうとする意識を高めることができるようにする。</li> </ul> <p>◎めざす姿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項や資料を基に、価値判断や意思決定ができる学習課題をつくっている。(関心・意欲・態度)</li> <li>・近畿地方の環境問題について考え、具体的な根拠を示しながら論述している。(思考・判断・表現)</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>学習課題</b>          近畿地方の環境に関わる課題を挙げ、解決に向けての意見を求める学習課題をつくって、自分の考えをまとめましょう。       </div> <p>〈各班のつくった学習課題〉</p> <p>1班: ~          2班: ~</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>気付きメモ (キーワード)</b> </div>	<p>〈自分の考え〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <b>【学習の振り返り】</b> </div>